



# ASAKOIHITO REPORT 2015

朝来市地域おこし協力隊「あさこいひと」レポート2015

since 2014

Miki Imamura  
Takayuki Kato  
Naoko Kato  
Tsuyoshi Yoshihara  
Ryota Shinohara  
Shohei Matsuki

since 2015

Daisuke Nishimura  
Akira Satake  
Naoki Takada  
Hideki Nakashima





# ASA KOI HITO REPORT 2015

2014年4月1日に結成された、兵庫県朝来市地域おこし協力隊「あさこいひと」。

全国から集った年齢・性別・経歴…何もかもバラバラな6名は持てる力をそれぞれの地域で発揮し、協力隊の「協力隊」となった住民とともに朝来市を盛り上げています。

そして2015年、新たに4名の協力隊が朝来市に着任しました。

総勢10名となった「あさこいひと」。

増えたのは人数ではありません。

一人一人がパワーアップし、地域の夢と自身の目標に近づきつつあります。

そんな十人十色な活動をレポートします。

## 地域おこし協力隊

「地域社会に貢献したい」「人とのつながりを大切に生きていきたい」「自然と共存したい」…。

今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた「地方」に注目しています。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図る

ことで意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組です。

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、地域資源の発掘・活用、住民の生活支援などの各種の地域活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。

## 活動期間

地域おこし協力隊員は、おおむね1年以上3年以下の期間、地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、各種の地域協力活動をおこなっていただきます。

## 朝来市では

地域が求める活動と、地域おこし協力隊自らが実現したい活動や、活動したい地域などの意向をマッチング。地域力の維持・創出に資する活動を展開しています。また、隊員自身のそれぞれの

ミッションが実現に繋がるよう、そしていきいきと活動ができるよう、フォローアップ研修の開催や隊員の状況に応じながらきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。



## あさこいひとの言葉

いま朝来市で暮らす人が よりこのまちを愛せるように  
このまちに遊びに来るひとが また来たいと思えるように  
そして 次の朝日が昇るとき 笑顔で一日を迎えられるように

「あさこいひと」はだれよりも強く朝来に恋をして  
みんなと話し合い 協力し合い 時には自らが太陽となり  
朝が来るのが楽しみなまちとなるように  
朝来の新しい朝を照らします

## あさこいひと「田の庄12カ条」 (行動原則)

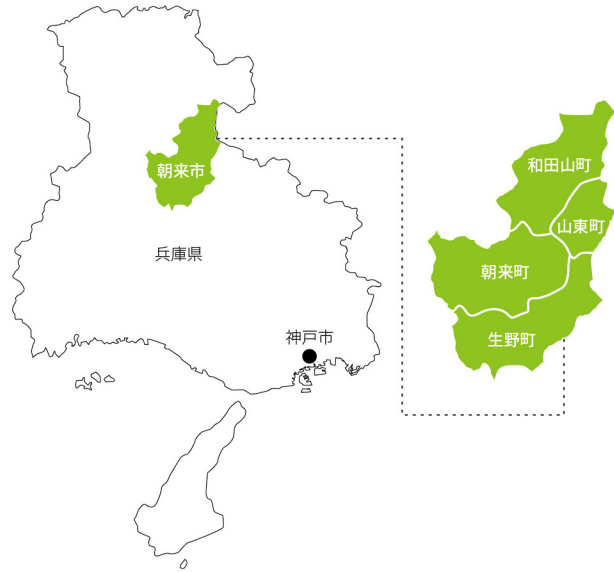
- 1 最初の感動を忘れるな その感動が自らを動かす
- 2 一日を大事にし、踏み出す一歩の積み重ねが 朝来の未来をつくと思え
- 3 あいさつを大きな声で ありがとうと言える人ていよう
- 4 人の言葉に耳を傾けよ 思いやりを持って、相手に伝えよ
- 5 人の心を動かしたいとき 「楽しい」に勝るものはないと思え
- 6 外に出よう 地域は宝の山
- 7 伝統を重んじ、そこに新しい息吹を吹き込め
- 8 小さな幸せを守りたい心もある それを守るために必要な変化もある
- 9 自ら行動を起こし 前に進め それが新しい道となる
- 10 あさこいひとはそれぞれの夢を助けあう そして 同じ家を想う家族である
- 11 種を蒔くにもときがあり 稲を刈るにもときがある ゆえに 焦るべからず
- 12 時に芽吹きを 時につよい光を 時にすべてを運ぶ風を 時に川をも凍らす冷静を 四季を生み出す朝来の太陽になれ



## 朝来市について

朝来市の北部は養父市と豊岡市に接し、南部は神崎郡、東部は京都府、丹波市、多可郡、西部は宍粟市に接しています。新市は南北約32km、東西約24kmの範囲に広がり、日本海へ流れる円山川や瀬戸内海に流れる市川などの源流地域で兵庫県南北の分水嶺でもあり、総面積は403.06平方キロメートルで県全体の4.8%を占めています。

### 《朝来市の位置》



### 《朝来市の人口》

平成22年国勢調査人口			平成17年 国勢調査人口	対平成17年国勢調査人口（一は減少）	
総数	男	女		増減数	増減率（%）
32,814	15,727	17,087	34,791	-1,977	-5.7

### 《朝来市の世帯数》

平成22年 国勢調査世帯数	平成17年 国勢調査世帯数	対平成17年国勢調査世帯数（一は減少）	
		増減数	増減率（%）
11,655	11,808	-153	-1.3

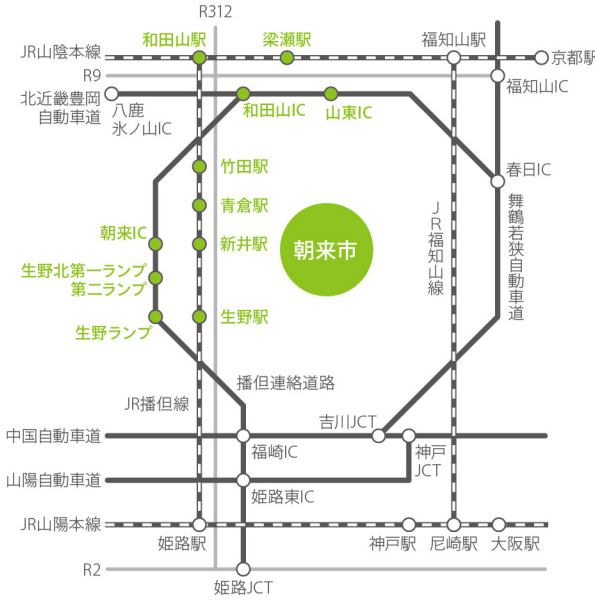
## 市内の自然・史跡



豊かな自然と数多くの遺産が残る朝来市。茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺産、国史跡の竹田城跡や日本有数の鉱山として栄えた生野銀山、また、由緒ある神社・仏閣、各地に伝わる伝統芸能などの歴史文化遺産、

## アクセス

朝来市は、兵庫県のほぼ中央部に位置し、京阪神からは鉄道、高速道路等を利用しておよそ1時間半から2時間で、また、姫路からはJR播但線や播但連絡道路等を利用しておよそ1時間で直結する距離にあり、但馬・山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地にあります。



### 《JRご利用の場合／山陰線・播但線 和田山駅下車》

大阪より特急で約2時間10分（JR福知山線経由）  
神戸より特急で約2時間（JR播但線経由）  
京都より特急で約1時間50分（JR山陰本線経由）  
鳥取より特急で約2時間（JR山陰本線経由）

### 《自動車ご利用の場合》

中国自動車道（福崎IC）→播但連絡道路（和田山IC）下車  
大阪より約2時間／神戸より約1時間30分

中国自動車道（吉川JCT）→舞鶴若狭自動車道（春日IC）→北近畿豊岡自動車道（和田山IC）下車  
大阪より約1時間50分／神戸より約1時間30分

国道9号線利用  
京都より約2時間30分／鳥取より約2時間

そして四季折々の自然に包まれたキャンプ場、公園、温泉などが市内には数多くあります。これらの多くの遺産を有効に利用しつつ、広域交流拠点のまちとして「あなたが好きなまち・朝来市」をめざします。

今村 未希 (30)

Miki Imamura

担当エリア: 生野町全域



昨年度、意識していたのは生野町の人々との信頼関係を築くことです。町内を走り回って皆さんのニーズが以前よりも掘り出てきて、優先順位も分かってきたつもりです。そして今年度はより生野町に入り込み、まちに根ざした活動を展開しています。町内の女性事業者のグループである『生野マルシェ』の事務局として運営・企画などもサポート、また農産物加工所の商品ラベルをデザインしたり、生野生まれの名優・志村喬の映画祭を企画し認知度アップに努めたりしています。それぞれのプロジェクトが形になりつつあり、残り1年でそれを完成した形まで持っていきたいです。

あと1年半の任期で、空き家の活用を何としても成功させたいという想いがあります。アクションとしては大きくは二つ。一つは空き家バンクの登録数を増やすということ。生野町内の関係団体の方々と連携し、行政が管理している物件なども含めてよりオープンに利用してもらえるように動いています。もう一つは市外からの移住希望者に響くような生野暮らしのPRです。これらを生野町全体でできればと考えています。これらの課題を話し合うための、従来の枠組みを超えた大きなプラットフォームを作りたいです！

生野ファンが生野で楽しく暮らしていけるよう、引き続き皆さんのサポートに徹しつつ、頑張りたいと思っています。

## Profile

滋賀県大津市出身。高校卒業後、カナダへ渡りインテリアデザインを学ぶ。帰国後、社会に関わる仕事に就くため大学へ入り、卒業。インターンとして国連での活動に参加した経歴を持つ。

2014年度より朝来市生野支所地域振興課で勤務。



生野町内の事業者を集めて、観光用マップの企画を練る今村隊員。出された意見をテンポ良くまとめていく。

加藤 貴之 (32)

Takayuki Kato

担当エリア: 生野町奥銀谷地域



1年目は自分の足でとにかく歩き回りましたね。生野町、朝来市、そして兵庫県を巡り、様々な人と繋がり、地域の方々の声を聞いて回り、勉強させていただきました。

それを踏まえて2年目は、奥銀谷地域に密着した活動を展開しています。生野は鉱山で栄えたまちで、全国から集まった鉱山関係者が持ち込んだ家庭の味がお惣菜として現在も各家庭で親しまれています。奥銀谷地域自治協議会と僕の目標として、奥銀谷にお惣菜の販売店をオープンさせ、まちおこしに繋げたい。生産量を増やすために加工所の開業も目指しており、閉校となった小学校の活用できないか、市に提案を行う予定です。

まず始めに『ふれあい屋台』と題して、毎週火曜日にお惣菜屋をオープンさせました。毎回、地域の旬菜を用いた新しいお惣菜メニューを考案し、店頭で調理・販売を行うというもの。地域の住民の皆さんが夕食のおかずとして買いに訪れてくださり、味についてもアドバイスをいただいています。お惣菜の移動販売も軌道に乗せたい。これには町外に商圏を広げ外貨を稼ぐということ、地域におられる一人暮らしのお年寄りの方を支えたいという想いがあります。町並みを楽しみながらお惣菜を食べ歩くことができる、奥銀谷をそんな地域にしていきたいですね。

## Profile

東京都板橋区出身。大学卒業後、IT企業に就職、その後アイドルのマネージャーを経て、2013年に「飛脚」として独立。アフリカを450km歩いて日本からの土産を歩いて届け、アフリカと日本の架け橋となる。

2014年度より奥銀谷地域自治協議会で勤務。



この日、作ったメニューは「豆腐ハンバーグ」。自宅の畑の野菜や地元農家の農産物を積極的に使う。



## 加藤 菜穂子 (31)

Naoko Kato

担当エリア: 生野町いくの地域



この1年は直販イベント『生野マルシェ』のサポートや地区行事、日役への参加を通じ、多くの人と出会った密度の濃い1年となりました。特に『生野マルシェ』は生野町内の女性メンバーを中心にした取り組みで、何でも言い合える関係性とテンポの良さ、実行力があります。町内だけではなく神戸に出店したりと、他市町へも積極的にPRを進めた結果、メディアにも掲載され、引き合いも増えました。

また『生野紅茶』との出会いも欠かすことができません。特産品開発が私のミッションの一つであり、今は『生野紅茶』を軸にした展開を模索しています。生産者の高齢化が進んでいるため、私のような若い世代がそれを未来へと繋がないといけません。現在、茶畑の整備や茶摘み、篠原隊員(P7)が進める『あさご高校社会活動部』とも連携し市内の高校生を交えたワークショップも行っていきます。このようにして生産量と品質の向上、そして、地域の方が関わるような状況や環境づくりを今以上に進めていきます。

今後、生野町にカフェをオープンするのが夢です。いきなりオープンさせることは難しいので、現在は移動カフェという形式で地道にファンを集める活動をしています。お客さんにも常連さんが増え、率直な意見をくださるのがありがたいですね。

### Profile

兵庫県姫路市出身。大学卒業後、神戸市のアパレルメーカーに就職。新規店舗の立ち上げなどに携わる。趣味であった一人旅で生野町に下り立ち、以後も訪れるようになる。  
2014年度よりいくの地域自治協議会で勤務。

## 吉原 剛史 (41)

Tsuyoshi Yoshihara

担当エリア: 和田山町竹田地域



昨年度、狩猟免許を取得し、鹿や猪の猟を自身でも行えるようになりました。ただ単に獣害対策として狩猟を行うのではなく、その肉を循環させてお金を生む仕組みを完成させること。これが今年度の大きな目標です。そのために食肉処理施設を開業させます。給食センターなどから備品を譲り受けてコストを下げ、低価格でも開業できたモデルケースとしたい。今年度から協力隊に加わった高田隊員(P9)という同じ志を持ったパートナーも得ました。プロの料理人のクオリティーに叶うような肉を安定的に提供できるように努力したいですね。

もう一つ力を入れているのが移住者や起業者のためのシェアハウスづくりです。単なる宿泊施設ではなく、市内の起業家の跡継ぎをマッチングするような場所となればいい。市内の若手有志で『あさごぜる』というチームを立ち上げ、ワークショップ形式も取りつつ、建物のセルフリノベーションを行っているところです。

観光とは名所を巡るだけではないんです。地元の人々の生活や伝統文化を体験できることが本来の観光であるべきだと思います。地元の人々と知り合い、朝来市のファンになり、移住に繋がるようにしたい。そのための中核が狩猟であり、農業であり、シェアハウスだと考えています。

### Profile

東京都足立区出身。オーストラリアの大学を卒業後、大手金融企業に勤務。オーストラリアに16年間在住する。その後、3年半かけてオートバイで世界一周し、4大陸のべ65か国を巡る。  
2014年度より竹田地域自治協議会で勤務。

## 篠原 諒太 (26)

Ryota Shinohara

担当エリア: 朝来市全域



昨年度は竹田城跡ブームによって多忙な日々を過ごす中、『あさご青春物語』という写真集を企画・発行したり、地域住民との朝食会『あさごはんの会』の準備・運営など、充実した1年でした。冬に開催したあさごはんの会では市内の高校生にも運営サイドに参加してもらい、場を盛り上げてもらいました。実は協力隊になった頃から、高校生に参画してもらおうプロジェクトを模索していたんです。東日本大震災の被災地を視察したことがあり、若手人材の育成の必要性を感じていました。

『あさごはんの会』では満足感・充足感が得られたと、高校生からの感想をもらい、手応えを感じたんです。2月から『あさご高校社会活動部』として独立した活動を始めました。活動拠点として市内の道の駅のご協力を得て、高校生が主体となった観光情報の発信、特産品開発、市内事業者とのコラボレーションなどの活動をコーディネートしています。1つの目標として全国の高校生が集う「全国高校生観光プランコンテスト」への出場を掲げ、自分のまちを知る様々な活動に参画してもらおう予定です。

このように若者が主体となった、従来には無い形での朝来市の情報発信をより進め、それを継続してやり遂げなければという強い想いがあります。

### Profile

兵庫県神戸市出身。東京、大阪のデザイン事務所にてデザイナーとして勤務。その後、神戸市にてフリーランスとして働きながら、「デザインの知識を使ったまちづくり」のイベントに多数参加。  
2014年度より朝来市産業振興部観光交流課で勤務。

## 松木 祥平 (39)

Shohei Matsuki

担当エリア: 朝来市全域



今年3月、竹田城下町に『竹田インキュベーションセンター段々』がオープンし、2階のカフェスペース『辻処ほん』の運営を担当するようになりました。もともとアンテナショップの開業を目指していたこともあり、これは大変ありがたいオファーでした。より竹田地域に飛び込んだ形での活動ができますから。ただ、ショップ立ち上げから店内のレイアウト、取り扱い商品のセレクトまで全て1人で行っていたため、当初は苦戦が続きました。慣れない接客業務ではあったんですが、メリットもあり、観光客の方々とお話する機会が得られたことで様々な情報を知ることができました。何よりありがたいことは地元の皆さんからも顔を覚えていただき、応援の声をかけていただいていることですね。

いわゆるアンテナショップは物産を売ることがメインなのですが、『遊ぶ』『体験する』ことを販売するという切り口はまだありません。若い世代をターゲットに阪神間から『辻処ほん』めがけて竹田城下町を訪れてもらい、朝来市を満喫してもらおう、そんな『商品』を模索しているところです。そのために今後も、現在の店舗形態を進展させ、竹田地域内にある他の商店との協働イベントなども企画していければと考えています。また他市町村の協力隊とのパイプも作っており、そこでも連携していきたいですね。

### Profile

兵庫県神戸市出身。大学院修士まで文化人類学・民俗学を学ぶ。フリーペーパーの広告営業・取材、IT技術者等の経験がある。  
2014年度より朝来市商工会に所属。現在、『竹田インキュベーション段々』内のカフェ『辻処ほん』の運営を担当。



毎週土曜日は移動カフェで『生野紅茶』を振る舞う。ご近所のかただけでなく、車で顔を見せるお客さんも。



『あさごぜる』メンバーとともに廃屋のリノベーションを行う吉原隊員。中心メンバーとして、積極的にアイデアを提案している。



『あさご高校社会活動部』の活動にて。協力隊の佐竹隊員が企画した田植え体験会に高校生とともに参加する。



『辻処ほん』にて。松木隊員との談話を楽しみに訪れるお客さんも。



## 西村 大輔 (35)

Daisuke Nishimura

担当エリア：  
朝来市全域



移住希望者と地元農家とのマッチングの場で、市役所職員として、また1人の移住者として、様々なアドバイスを行う。

転機は東日本大震災でした。被災地にボランティアで行ったことで変化があったんです。何不自由なく暮らすこのままの生活で良いのかと。朝来市に移住されたカフェオーナーと知り合ったご縁から、朝来市役所に移住・定住の相談に訪れた際に協力隊の募集を知り、移住のタイミングは今しかないと思募しました。

現在、あさご暮らし応援課の職員として空き家バンクの更新や移住・定住事業に携わっています。空き家があれば実際に出向き、調査を行い、それを市役所に持ち帰って間取りの作成やホームページの更新をしています。更なる空き家バンクの充実のため、将来的には中間支援組織を立ち上げ、市から委託してもらう形で進めていきたい。今の若者にマッチした形でもっと拡充したいですね。不動産の契約のためにも、宅地建物取引主任者など、必要となる資格を取るつもりです。

積極的に観光客の方とお話ししたり、課で開催している朝来暮らしの体験会などの場では移住者の目線でお話をしています。僕自身、ご縁があって朝来市に来ましたから、今度は自分にご縁を与えることができたらと考えています。

### Profile

兵庫県高砂市出身。スポーツジムのインストラクターの経験を経て、兵庫県加古川市の大手鉄鋼メーカーでオペレーターとして勤務。現在は地域おこし協力隊として朝来市役所あさご暮らし応援課に所属。

## ASAKOIHITO NEW MEMBERS

## 高田 尚希 (36)

Naoki Takada

担当エリア：  
和田山町大蔵地域



中庭での薪割りが目課となっている。

東京で働いていた頃、環境保全の仕事をして、もっと『土』に近い場所での生活を求めています。そんな折、朝来市地域おこし協力隊の募集と、隊員の活躍を知り、応募しました。

生産というファクターを生活にもっと取り入れたいと思ったとき、都市という空間に不自由さを感じ、自然豊かな「地域」に魅力と可能性を感じました。丁寧に暮らしたいという思いがあり、毎日、薪でお風呂を湧かしています。地域の方から面白いと言われる、薪のお裾分けを貰えるようになりました。すぐそばに資源があることのでありがたさを実感しています。

9月に狩猟免許を取得しました。猟師として頑張っていこうと思います。そして先輩である吉原隊員とともに食肉処理施設を立ち上げるべく、日々忙しく動き回っています。鹿や猪も山の恵みです。お肉として食べてあげ、他の部位もできるだけ無駄の無いように活用してあげたい。この生業で、生態系の輪の一部になりたいです。

この朝来市で、僕は農村のライフスタイルを実践・追求していきたいと思っています。その中から、ミッションである空き家・耕作放棄地の利活用への可能性が、徐々にですが見えてきています。

### Profile

兵庫県宝塚市出身。以前は営業職として東京と大阪で勤務。またLLP制度を利用し仲間と会社を立ち上げた経験もある。現在は朝来市和田山町の大蔵地域自治協議会に勤務。

## ASAKOIHITO NEW MEMBERS

## 佐竹 鑑 (41)

Akira Satake

担当エリア：  
山東町与布土地域



地元の子どもたちの野外活動ではインストラクターの1人として、見守り、場を盛り上げている。

子どもが生まれ、良い環境で子育てがしたいと、協力隊の募集とは関係なく、はじめから朝来市への移住を考えていたんです。お店を始めるための補助金制度がありました。今回、ご縁があって協力隊として朝来市で暮らすことになり、農産物の流通と、それに向けた都市農村交流を進めるべく活動しています。

小規模栽培の米や野菜は、市場を通すと非常に不利なんです。なので、消費者と顔の見える関係を作ることが大切だと思っています。そのためにも交流事業をどんどん推進して、与布土ファンを増やし、購入してもらえる仕組みづくりを行っていきます。

都市農村交流では特に子どもたちをこっちは遊ばせたいと思っています。自然にふれあえるイベントをたくさん企画してね。今後は農業・交流事業だけでなく、観光事業など、複数の小規模事業を動かして行く予定です。

地方への移住に悩んでいるなら来ちゃったほうが面白いですよ。都市でしか働き口がないという固定観念がありますが、実際はそんなことないんです。田舎ならではのライフスタイル・楽しみ方がちゃんとありますから、地域の方も子どもを見守ってくれますしね。自然だけではない繋がりが、このまちにはありますね。

### Profile

愛知県名古屋出身。兵庫県神戸市で有機野菜を取り揃えるショップを営む。またボランティアコーディネーター、NPO活動などの活動も展開。現在は妻子とともに朝来市に移住。朝来市山東町の与布土地域自治協議会に勤務。

## 中島 英樹 (38)

Hideki Nakashima

担当エリア：  
山東町梁瀬地域



地域の各区長とも現状の課題をすりあわせ、活動に反映するために、ヒアリングを重点的に行っている。

協力隊の制度は1年くらい前から知っていました。興味本意で行った東京での地域おこしイベントで、朝来市のブースがあり、これは面白そうだなと。募集要項を貰い、妻と二人で話をして「チャレンジしてみようか」となりました。妻も田舎暮らしに興味があり協力的でした。

私のミッションは山東町梁瀬地域の特産品開発と交流の活性化です。もともとメーカーのエンジニアとして顧客の要求に応じた部品開発や、営業職として販売促進活動に従事していた経験もあり、募集要項を見てこのミッションが一番合ってたなと感じました。

現在は特産品開発において何を材料とするのか、地域の農家の方からお話を伺い、ネタを探しています。ただ最近気付いたのが、それで本当に地域の問題解決になるのかということ。農産物を作る人が高齢化していますから。そういった問題にも着目しながら、地域に根本的にある課題を解決して行ける『地域コーディネーター』の役割になればと。

ハードとソフトの違いはあれど、特産品の「開発」ということで、エンジニアとしての職務経験を存分に生かし、梁瀬地域に貢献したいと思っています。

### Profile

千葉県松戸市出身。エンジニア、営業職という職務経歴をもち、兵庫県で勤務した経験も。現在は妻とともに朝来市で暮らす。朝来市山東町の梁瀬地域自治協議会に勤務。



# SUPPORTER'S

サポーターの声

## VOICE

「あさこいひと」はその活動において、職場の先輩方や地域住民の方からも協力をいただいています。

ここではそんな「サポーター」の方々から、それぞれの活動と今後への期待を込めたコメントをいただきました。



TO  
今村隊員

生野まちづくり工房井筒屋 | 斉藤 敬子さん

今村さんとの出会いは『生野マルシェ』がきっかけでした。若くて活発なキャラクター、即行動の姿勢は『生野マルシェ』にスピード感を与えています。また幅広いネットワークを持っていることも大きな強みですね。もっと生野町全体を活性化させてくれると期待しています。年齢的にも娘のような存在です。今後もこのまंचで頑張りたいと思っています。



TO  
加藤貴之  
隊員

奥銀谷地域の皆さん

加藤さんは孫のような世代なので放っておけない(笑)。火曜日夕方に開いている『ふれあい屋台』、私たちのお年寄りにも好まれる味付けで、なおかつハイカラ。「今日はどんなお総菜なのかな」と毎週楽しみにしています。夕食のおかずにもびったりですね。これからも加藤さんのことを私たちは応援しています。この取り組みは、ずっと止めずに続けてほしいですね。



TO  
加藤菜穂子  
隊員

いくの地域の皆さん

<左・村崎さん>おとなしうに見えて勢いがあります。カフェがオープンすれば地域の方にとっても集う場所ができるので頑張っています。  
<右・三野さん>一緒に詩吟をしています、忙しいのに何でも頑張る姿勢が素晴らしい。彼女の夢の実現に向け、応援していきたいです。  
<中・佐竹さん>カフェや屋台など出店される時に手伝っています。加藤さんの人柄と想いに惹かれ、サポーターをさせて頂いています。



TO  
吉原隊員

ありがとんぼ農園 | 岡村 康平さん

協力隊として市民にも受け入れられている現在、少し厳しい意見ですが、もう一度初心に立ち返り、何でも自分1人でやり遂げたいという想いを再確認してほしいと思っています。こちらも協力は惜しみません。でも、もっと専門性を特化させ、狩猟なら猟師として、農業なら農家としてのスキルとポテンシャルを高めてほしい。残り1年半、起業に向けてさらなる奮起を期待しています。



TO  
篠原隊員

朝来市産業振興部 | 観光交流課 | 上山 哲生さん

昨年度は朝来市の観光について、自分で歩き回り、じかに知ろうと積極的にやっていたね。その中で朝来市に足りないものや、今後、自身の起業に向けた手応えを掴みつつあるのではないだろうか。残り一年半、篠原隊員も結論を出さないとはいえないと思っているだろうから、重要な時期に来ています。朝来市での活動における篠原隊員のコンセプトを作っていくってほしいと思っています。



TO  
松木隊員

和田山竹田家具 | 古屋 陽平さん

私も参画した『竹田インキュベーションセンター段々』ができるにあたり、竹田地域への想いのある方にビジネスの場を提供するという意味で、松木さんは最適な人材と思いました。ここで目に見える成果やメディアへの露出など、実績を積み上げ、竹田地域内外に向けた発信や提案をしてほしいと思っています。竹田地域だけにとどまらず、但馬有数の観光情報施設に育てて行ってもらえたらいいですね。



TO  
西村隊員

朝来市市長公室 | あさご暮らし応援課 | 宮崎 隆史さん

彼は、朝来市に移住して仕事を進めるうえで、地域の方々との交流を大切にしており、とても期待しています。朝来市に移住してきた外からの視点や、都市部での生活経験などを生かして、移住希望者を受け入れるアドバイザー/サポーターとして頑張ってもらいたい。将来は、行政と住民の間に立ち、中間的にコーディネートを行う支援組織を立ち上げ、移住者のあさご暮らし支援に向けた活動を展開してもらいたいと思います。



TO  
佐竹隊員

与布地域自治協議会 | 藤本 邦彦さん

佐竹隊員とは川や田んぼの生き物調査や観察会を一緒に行っています。インターネットが普及している現在、様々な活動を行うには地域外とのネットワーキングが重要になっていくでしょう。都市部には無い、田舎ならではの体験をワークショップにすれば、都市農村交流をさらに推進できます。彼は我々にはない、都市部との人的ネットワークがあるので、それを生かし、そのパイプを作ってくれるのでは期待しています。



TO  
高田隊員

大蔵地域自治協議会 | 小川さん夫妻

現在、我が家の別棟で生活している高田隊員は息子のような存在です。そう思えるのは彼の人柄があるからこそ。積極的に住民とコミュニケーションを取り、良い信頼関係を築けています。逆に私たちが、若い移住者を受け入れることができた大蔵地域の懐の深さを再発見できました。住民の彼に対する期待は大きく、本人は色々成し遂げたい想いを抱いていると思いますが、今は焦らずに頑張ってもらいたい。



TO  
中島隊員

宮谷商店 | 宮谷 泰史さん

ナカシー(中島君)とはご近所で年齢も近いので、気さくに話し合える間柄です。田舎の人間は『感覚的』に物事を進めることがあるけれど、彼は良い意味で『理論的』。しかも行動し、実践するタイプだから新鮮な風を吹かせてくれると期待しています。地域の「今までこうだったから…」という意見にとらわれず、自らが良いと思うことを推進してほしいですね。私たちのまちの素晴らしさをその客観的な目線で教えてもらいたいです。





朝来市

あなたはまちの未来  
**ASAGOiNG**

発行：朝来市

お問い合わせ：079-672-6110（朝来市市長公室総合政策課）

アートディレクション/写真/文/デザイン：木村 淳